

平成29年度 白沢小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本方針	広い視野をもち、心身ともに健康で、創造性と実践力に富む心豊かな児童の育成を目指す。
(2) 具体目標	【時代を拓く日本人を育てる】 ○ よく学び考える子 ○ 思いやりのある子 ○ たくましい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立144年を迎え、長い歴史や伝統、豊かな自然や文化に培われてきた本校で学ぶすべての児童に対し、全教職員がその力を結集し、教育目標の達成を目指す。そのためには、一校一家の校風のもと、すべての教職員の和と信頼を以て、児童・保護者・地域住民と協和しながら、創意と工夫・活力に満ち、充実した教育活動を展開する。また、地域とともにある学校づくりを目指し、家庭や地域との相互理解に基づき、三育（共育・協育・響育）の精神をもって、地域の教育資源を活用しながら、学び合い、喜び合い、励まし合う教育の実践に取り組む。
--

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

○(1) 楽しく居がいのある学校づくり	(4)地域とともにある学校づくり
○(2) 生きる力を育む教育実践	(5)自己研鑽と経営組織の活性化
○(3) 社会性の育成	
【古里地域学校園教育ビジョン】 児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望をもたせるとともに、「学ぶこと」そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ、社会的自立をめざす教育に小中が一貫して取り組む。	

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】○児童も教師もいきいきと活動する学校、児童も教師も成長する学校、地域とともにある学校の実現による「信頼と魅力ある学校づくり」
【学 習 指 導】○基礎・基本を確実に身に付け、粘り強く考え、ともに学び合う児童の育成
【児 童 生 徒 指 導】○ルールを守り、互いに認め励まし合いながら、いきいきと活動する児童の育成
【健康（体力・保健・食・安全）】○運動に積極的に取り組み、体力と健康の向上を目指す児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童の自己肯定感や主体性をさらに高めるために、各行事や児童会活動を見直ししながら、児童が主体的に活動できる場を意図的に設定する。 ② 児童の心の安定や居がいのある場所づくりをつなげるように「お話週間」を効果的に実施しながら、現状の把握に努めたり、具体的な方策を基に手立てを講じたりする。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答率は 94.0%で、指標の 90%を上回っている。 ・児童会活動での異学年交流や、クラスで協力する活動（長縄・ドッジボール大会）等を設けることにより、児童が主体的に活動する機会が増え、自他の良さを認め合う雰囲気が定着しつつある。 【次年度の方針】 ・各行事や児童会活動において主体的に活動できる場を設定していく。 ・児童と教師の関わりをさらに深め、児童に寄り添い、児童を肯定的に捉えていく。

学校運営の状況	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 授業のねらいの提示と振り返りの実施により、児童がより主体的に学ぼうとする授業づくりを行っていく。 ② 日々の構造的でわかりやすい板書や校内での一人一授業の実施により、児童が意欲をもって学習に取り組めるような指導法を工夫していく。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 99.7%であり、指標の 90%を大きく上回った。 ・一人一授業の実施により、学習活動のねらいの明確化や学習形態の工夫がなされ、児童の学習意欲向上につながった。 ・①については、授業のねらい及びふりかえりカードなどを掲示することで確実に実施することができた。 【次年度の方針】 ・計画的な研修を通じて、学力向上の方向性を共通理解する。また、児童の学力を的確に分析し、成果と課題を洗い出す。それをもとに、スモールステップで指導するとともに、学級経営の中で、児童同士が話し合える土壌と雰囲気をつくっていく。
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 本校の生活目標を明確化した「すてきな虹色白沢っ子」を継続する。また、月目標の提示方法や重点チェック期間、振り返り方を見直し、児童一人一人が「守ろう」という意識を高める工夫をする。 ② 各種便りを通して、重点目標への取組や児童の変容などを保護者や地域に知ってもらう。 ③ 「時間を守る」「忘れ物をしない」「返事」「話の聞き方」「話し方」等の掲示物を作成し、意識化を図るとともに、秩序があり安全な学校生活が送れるようにしていく。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 88.3%で、指標の 90%をやや下回っているが、昨年度より 5 ポイント上がり、数値指標へ近づいている。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているので、次年度も継続していく。
	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① コースの特性を生かした指導方法の工夫と、学び合いを取り入れた少人数習熟度別指導により、学力の向上を図る。 ② 学力テストを活用し、本校の課題を明らかにする。 ③ <u>基礎力を養う朝の学習「プロジェクト S」</u>での毎月の確認テストの実施及び国語・算数の密接な関連等により、分かる授業・思考力を育てる授業に努める。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 97.3%で、指標の 90%を上回っている。 ・①については、習熟度別指導において児童の実態やコース選択における支援を行い、充実を図ることができた。 【次年度の方針】 ・ポイントを明確にした指導や個に応じた支援を行っていく。丸付けや誤答のチェック、それに対する的確な助言、教師のコメントなど、地道な取組を行っていく。 ・③については、基礎力を養う朝の学習で自己の目標に向けて努力できるような学習内容を実施していく。さらに漢字・計算を中心に継続していく。

A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① いじめゼロ集会やいじめアンケート、標語の募集の実施などにより、児童への意識化を図る。 ② いじめを未然に防ぐことを目的とした自己肯定感を高めるカードの活用（児童自身のよさの発見、友達からのよさの発見、保護者や地域の方々からのよさの発見）を図る。 ③ 道徳の授業等により児童の心を育てるとともに、各種便りやHP等により保護者の意識も高めていく。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 99.0%で、指標の 90%を上回っている。 【次年度の方針】 ・①②継続実施。 ・便りやHPだけでなく、学年懇談会の前に校長より学校の取り組み等を放送することで、保護者の意識を高めていく。
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケート「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 昨年度の反省や評価を基に、児童の実態や教育活動のねらいに即した真剣な教育活動となるような日課の改善と運営を図る。 ② 行事毎に実施している評価・反省から改善のための検討を行い、次年度に活かす。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 94.6%であり、指標の 90%を上回った。 【次年度の方針】 ・行事の精選や時期的なバランス等を考えながら、授業時間を確保し、効率的な学習が図れるようにする。 ・業間・昼休みの時間を確保し、運動したり、図書室を利用したりする機会を増やす。 ・新学習指導要領の趣旨を生かし、児童や地域の実態に応じた教育課程の編成と的確な運用を図る。
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 一日学校公開での積極的な授業公開、各種便りやHPのさらなる充実により、保護者及び地域への開かれた学校づくりを目指す。 ② 地域協議会での情報交換、学校公開日におけるアンケート等の工夫・活用により、地域・保護者からの提案や要望について検討を重ね、学校づくりに生かしていく。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 97.2%であり、昨年度と同様、80%を大きく上回っている。 ・各行事や学校生活に関して、HP・便り等で情報を発信した。 【次年度の方針】 ・①②を継続する。特に、HPの更新を増やしていく。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	① 域連携教員や地域コーディネーターとの連携を図り、地域協議会や学校支援ボランティアの協力を得ながら、教育活動の充実や登下校の安全確保に努めていく。 ② 地域の企業や専門性をもつ人材の授業参加に工夫改善を加え、地域教育力を生かした、よりバランスのとれた体験活動を推進していく。	【達成状況】 ・地域住民の肯定的回答は昨年度と同様 100%で、指標の 80%を大きく上回っている。 ・学校行事等の教育活動で、地域住民と共に活動する機会を積極的に設けた。 【次年度の方針】 ・①②継続実施。

A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 施設・設備の点検・修繕を定期的・日常的に行い、危険個所の早期発見・修繕・補修を的確に実施する。 ② 校内掲示計画に基づく潤いのある環境の整備や清掃時の児童への指導、また教材の有効活用を考えた保管の仕方及び掲示物の刷新を検討しながら学校内環境の整備に努める。	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は 96.7%で、指標の 90%を上回っている。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、ともに効果が上がっているため、次年度も継続していく。
A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① <u>地域学校園研修会や各部会等を定期的に実施し、計画的に実施する。</u> ② <u>あいさつ運動等、小中学校が連携した取組に関して便り等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。</u>	【達成状況】 ・保護者の肯定的回答率は 87.1%で指標を上回っている。 【次年度の方針】 ・地域学校園あいさつ運動、運動会協力、宮っ子チャレンジ、小⇄中乗り入れ授業、図書室の本の相互利用、料理教室、サッカー教室等について、継続して実施していく。 ・学校園で登校指導を同時に開催したり、研究授業を参観し合ったりするなどの取組を具現化していく。 ・地域学校園の取組が保護者・地域住民・児童に伝わるよう、HPや便り等で活動をPRし周知を図っていく。
B 1 地域との連携を大切に、地域から学ぶ姿勢を一人一人の教職員が身に付ける。 【数値指標】 学校独自アンケート「学校は、地域素材や人材・施設等を活用した学習を積極的に行っている。」 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	① 生活科、総合的な学習の時間の他にも奉仕作業や食農体験等、地域住民の方々の協力を取り入れるなどして、<u>地域素材や人材・施設を活用した学習を継続・実施していく。</u> ② 交流行事や活動のねらいを十分検討し、心の交流につながる活動になるよう工夫を加えながら継続していくとともに、学びを地域に発信する機会を設けるなど、双方向性の交流を目指していく。	【達成状況】 ・地域住民の肯定的回答は、昨年と同様に 100%であった。 ・地域の人材・資源を活用した学習を積極的に実施した。 【次年度の方針】 ・①②ともに継続していく。 ・企業や地域の人材を学校に招き、児童とふれ合いえる教室や講座を実施する。 ・学校だよりや学年だより等で人材を募集するとともに、活動内容についてHPや便り等で発信していく。

教育活動の状況	生活	A11 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 古里地域学校園や児童代表委員を中心とした<u>朝のあいさつ運動を実施し、意識化・実践化を図る。</u> ② 校内の「あいさつ通り」を活用するとともに、児童会によるあいさつ運動を継続したり、家庭でのあいさつを強化したりするなどの工夫をしたりして、さらなる定着を図る。 ③ 懇談会や各種便りを通して、家庭と連携して指導の徹底を図る。 ④ 来校者や地域住民へのあいさつ及び会釈ができるような取組を工夫する。また、月に1回家庭でのあいさつチェックシートを活用し、習慣化を図る。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は96.0%で、指標を上回っている。 ・児童会を中心にしたあいさつ運動の成果が表れている。 【次年度の方針】 ・①②③④ともに継続していく。
		A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は大人に対して適切な言葉遣いをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 友達同士で「さん・くん」をつけて呼び合う指導を継続する。 ② 授業中は、「です・ます」で話すことを徹底し、時と場に応じた言葉遣いを意識し、定着させる。 ③ 「白沢小生活の約束」に基づき、家庭と連携しながら指導を継続する。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は86.3%で、指標の90%をやや下回っている。 【次年度の方針】 ・月1回のあいさつチェックシートに正しい言葉遣いの項目を加え、家庭との連携を図りながら、指導を継続していく。
		B2 相手の気持ちを考え、正しく判断し行動している。 【数値指標】 学校独自のアンケート「先生方は、いつでも悩みなどの相談にのってくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 担任による「お話ししよう週間」（年2回）や教職員による事例研究会等の計画的実施、職員会議での児童の情報交換を通して、担任一人が抱え込むことなく、学校全体で児童の情報を共有しながらよりよい対応策について協議していく。 ② スクールカウンセラーとの教育相談や教育だよりなどを通して、保護者との連携や情報の共有を図る。	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は94.6%で、指標の90%を上回っている。 ・児童指導の情報交換を定期的 to 実施することで、職員全体で対応策に関する情報を共有することができた。 【次年度の方針】 ・「お話ししよう週間」や事例研究会等を継続して実施し、よりよい対応策について協議を重ねる。 ・スクールカウンセラーとの教育相談・授業観察による情報をもとに対応策を協議することで、さらに児童理解を深める。

健康・体力	A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 運動の積み重ねによって自分自身が成長していることが実感できるように、教科体育のさらなる充実や各種検定の活用、体育的学校行事などを計画的に実施する。 ② 運動の日常化につながるように、業間において様々な運動遊びの場を設定したり、外遊びを奨励したりする。	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 90.3%で指標を達成している。 ・外遊びの奨励や体力づくり活動（長縄・ドッチボール大会）の充実により、運動する心地よさを感じている児童が増えている。 【次年度の方針】 ・休み時間の遊びの中で、児童が苦手とする運動を積極的に行えるよう運動の機会を保障していく。 ・家庭で簡単にできる運動を紹介し、運動する機会を増加させるよう啓発に努める。
	A14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① <u>養護教諭や栄養士、食育主任と連携した食育月間、給食週間、食育集会など、内容を精査しながら積極的に実施する。</u> ② <u>地域学校園お弁当の日実施や家庭訪問、学年学級懇談会、食育だより発行など、保護者との連携を図りながら、よりよい食への啓発を続けるとともに、学級での指導や学級活動の内容を改善する。</u>	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 84%で、指標の 90%を下回っているが、昨年度より増加している。 ・調理員や栄養士の工夫により、児童は日々給食をおいしく味わっている。また、栄養士がクラスを巡回・指導することにより、食事の大切さを改めて実感することができた。 【次年度の方針】 ・地域学校園での「お弁当の日」の実施や各種便りの発行を継続する。 ・定期的に給食の残食状況を給食だよりでお知らせするなど、保護者への啓発を促す。
	B3 健康・体力の向上を目指し、元気で安全に生活しようとしている。 【数値指標】 学校独自のアンケート「自分の健康や安全に気をつけて生活している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 健康について児童が実感を伴って理解できるように保健学習や学級活動における項目内容をさらに充実させる。 ② <u>地域や保護者と連携して安全教育の充実を継続するとともに、健康や安全に関する学校行事の振り返りから活動を見直し、健康や体力の関心を高める。</u>	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 94.6%で、指標の 90%を上回っている。 ・養護教諭による保健指導や保健委員会の活動の充実により、健康に対する意識が高まっている。 【次年度の方針】 ・本年度は、怪我のために保健室で応急処置を施したり、医療機関で診察を受けたりすることが多いため、養護教諭による保健指導を継続するとともに保健委員会の活動を充実させ、児童の健康や安全に対する関心を高めていく。
学習	A15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 授業の中に学びあいの活動を取り入れ、課題を児童同士で解決するような授業展開を心がけていく。 ② <u>「白沢小学習の約束」や古里学校園で作成した「家庭学習のすすめ」を配布し、家庭と連携して学習習慣の形成に努める。</u>	B 【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 90.3%であり、指標の 80%を大きく上回っている。 【次年度の方針】 ・②については、古里地域学校園で作成した「家庭学習のすすめ」の内容を検討していく。

	A16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「授業中に先生や友達の話聞くなど、落ち着いて学習している。」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 学習の約束（児童）や学習指導の基本（教員）に基づいた学業指導の継続・積み上げを図りながら児童のよりよい学業習慣作りに努める。 ② 教師の授業力・指導力の向上を目指し、校内研修を充実させていく。また児童との信頼関係の構築にさらに努めていく。	B	【達成状況】 ・児童の肯定的回答は92.3%で、指標の90%を上回っている。 ・①については学校内で共通理解を図り、学業指導に力を入れたことにより、落ち着いて学習する態度が身に付いた。 【次年度の方針】 ・学習の約束（児童）や学習指導の基本（教員）に基づいた学業指導の継続・積み上げを図りながら、児童のよりよい学業習慣作りに努める。（←①の変更）
本校の特色・課題等	B4 地域学校園を基盤とした交流・教育活動を実施する。 【数値指標】 学校独自のアンケート「学校は、地域学校園をはじめ、幼・保・小・中・特別支援学校との交流を大切に活動を行っている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 学年・発達段階に応じた交流活動のねらいと実施内容を全職員が共有し、全職員の共通理解のもと系統的に交流が図れるよう工夫していく。 ② 小中乗り入れ授業の際には、授業参観や情報交換の時間を設けるなど、小中の相互理解を図る取組を工夫していく。	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は90.5%である。 【次年度の方針】 ・①②継続実施。 ・より有効な会議や交流活動ができるよう、地域学校園の組織の見直し等を検討していく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【成果】

・アンケートの各項目の肯定的回答は、どの対象者においても、ほとんどが指標を上回っている。また、保護者・地域住民の肯定的回答率は、すべての項目において、市小学校の平均を上回っている。

○「あいさつ」「言葉づかい」についての肯定的回答は、昨年同様にどの対象者においても市の小学校の肯定的回答率を上回っている。今後も、校内でのあいさつ運動や地域・中学校と連携したあいさつ運動を継続するとともに、家庭・地域と連携を図ったあいさつ運動を進めていきたい。

・いじめ対策に関する肯定的回答率は、100%または、昨年度の回答率を上回っている。児童の99%は、「先生はいじめが許されないことを熱心に指導してくれる」と答えている。今年度、児童・保護者に呼びかけ、全校児童により「白沢小さいじめゼロゆるキャラ『ノ・ブちゃん』」が決定した。今後も、いじめ問題に対する児童の意識を高めるとともに、家庭との連携を密にし、学校におけるいじめ対策を進めていきたい。

【課題】

・「児童は休み時間や放課後などに積極的に運動に取り組んでいる」への回答は、児童回答率は90.3%と指標を上回っている。しかし、「児童は、平日の授業後や休日などに積極的に運動している」の保護者回答率は市小学校の67.2%より多いものの、71.5%と昨年度より低い回答率になっており、保護者回答項目の中で最も低くなっている。学校においては、今年度新たな取組として「ドッチボール大会・長縄大会」等を実施し、その際には、児童の自主的な運動が多く増加する様子も見られていることから、来年度においても、児童が運動する機会を作っていきたい。また、家庭・地域での運動の機会の充実が図られるよう、運動に関する情報を伝達周知するとともに、啓発方法を検討していきたい。

・「授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど学習に取り組んでいる」「授業中に先生や友達の話聞くなど、落ち着いて学習に取り組んでいる」の児童の肯定的回答は、どちらも90%以上となっているが、教職員や保護者の回答では、市平均を下回っていた。授業は元より、朝の学習の充実、「家庭学習のすすめ」の見直しを行い、家庭と連携した学習習慣の形成に努めたい。

○A14「児童は好き嫌いなく給食を食べている」の児童の肯定的回答率84.0%であるが、「自分の子どもは、好き嫌いなく食事をしている」の保護者の回答率は77.3%と低くなっている。たより等により食育に関する取組を発信し、家庭における「食」への意識を高めていきたい。

6 学校関係者評価

【あいさつ】

○大きな声であいさつしたり、相手の目を見てあいさつしたりするなど、以前と比べ向上してきている。登下校時に地域の方へあいさつをすることは、地域の防犯活動にもつながるので、とてもよい取組である。

- ・時と場に応じたあいさつ・言葉遣いを身に付けていくには、学校と家庭がより同調した連携が必要である。

【いじめへの対応】

- ・いじめに対する学校の取組は十分になされている。今後も、いじめへの対応に継続的に取り組むことが大切である。

【運動能力の向上】

- ・家庭に帰ると運動する機会が少なく、学校の取組だけでは不十分である。健康的な体作りのためにも、運動機会を増やすことにに関して家庭の協力を得られるようにするとよい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○あいさつ・言葉遣いに関しては、向上してきているが、時と場に応じた言葉遣いについては、まだ課題があるので、さらに向上するよう、地域や家庭と連携し、継続して取り組んでいく。

- ・児童に対しては、いじめは許されない行為であることを、いじめゼロ集会や白沢小のいじめゼロキャラクター「ノ・ブちゃん」を活用するなどして、周知していく。また、たよりやホームページを活用して、いじめ対策について保護者に発信し、家庭と協力を図り、いじめ対策を推進していく。

- ・朝の学習の充実や「家庭学習のすすめ」の見直しを行い、家庭における学習習慣の形成に努めたい。

- ・児童の運動する習慣の定着を図るため、「長縄大会」「ドッチボール運動大会」等、運動する機会を意図的に設定して、運動への意欲を高める取組を継続していく。また、家庭・地域において運動機会の充実が図られるよう、便り等により情報を発信し、運動習慣づくりに関する啓発に努める。

- ・家庭においても、「食」について関心をもち、健康的な生活が送れるよう、食育に関する取組を家庭に発信していく。